

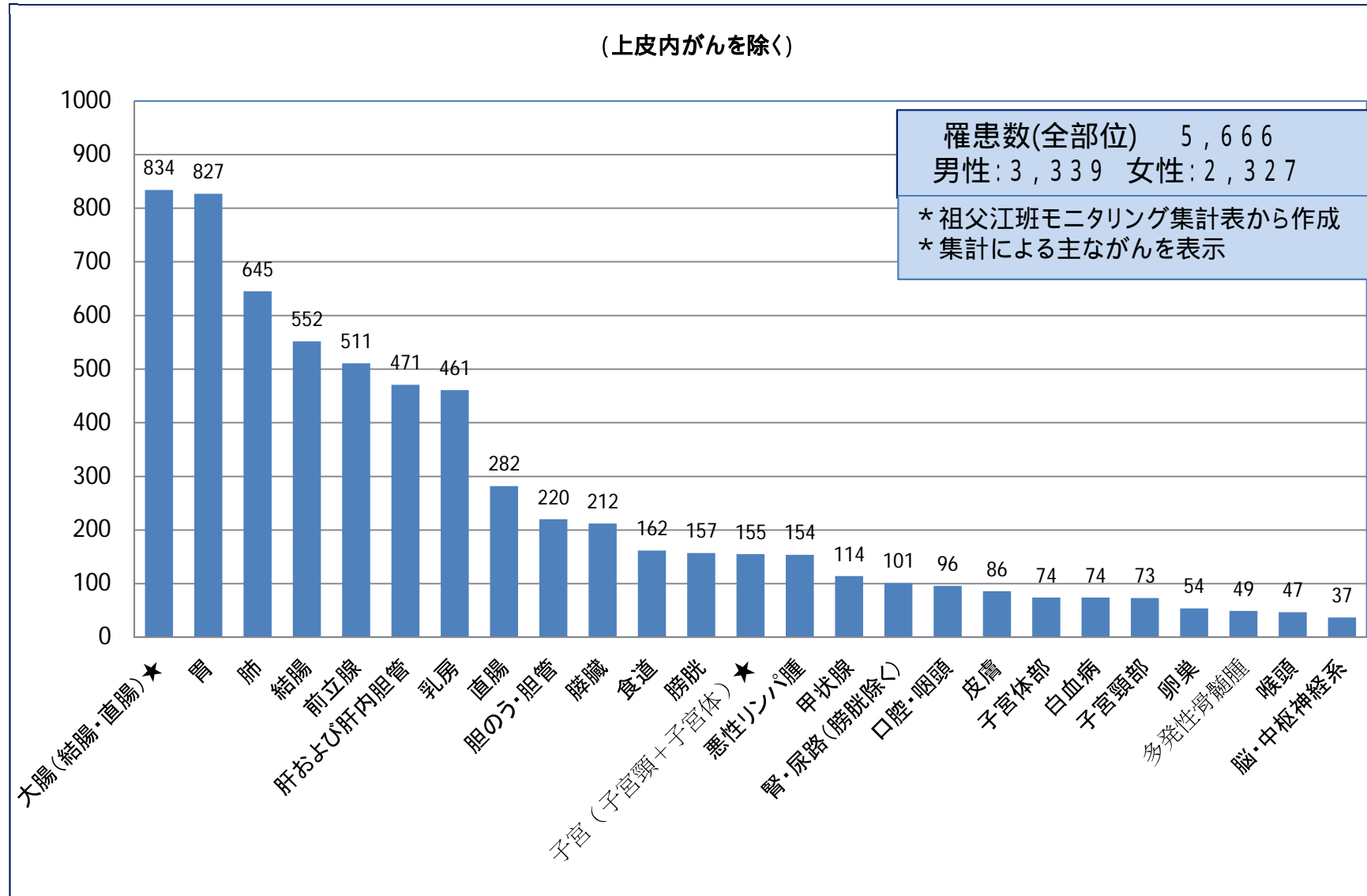
2010年

山梨県がん罹患
集計結果

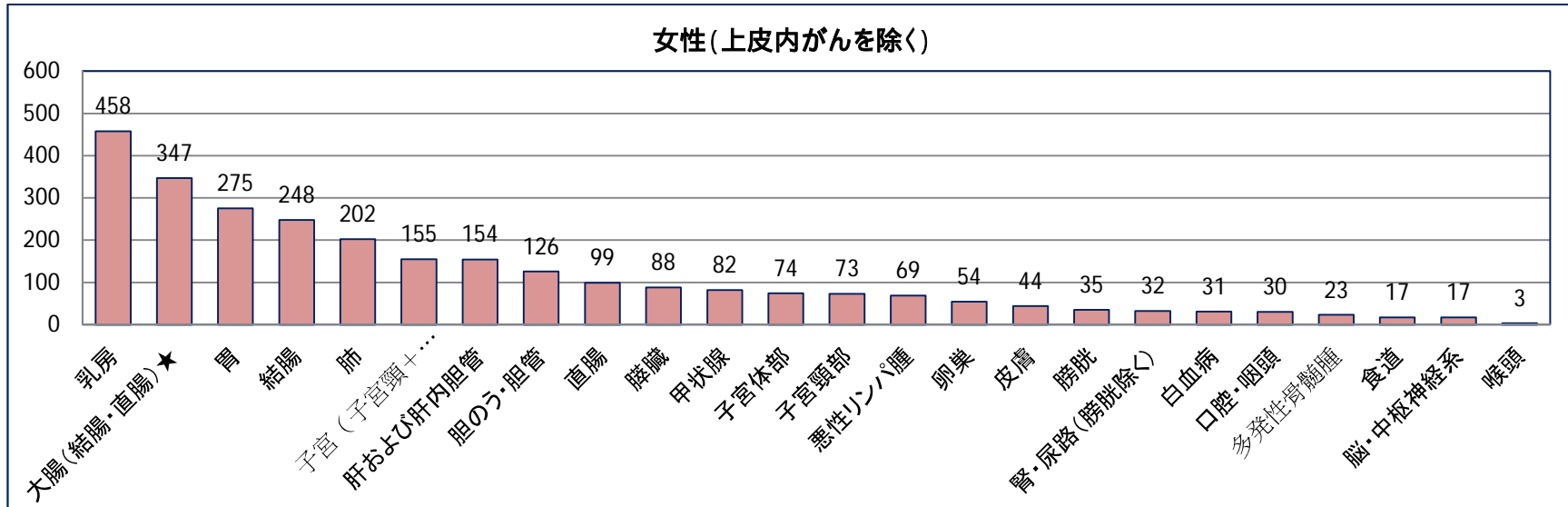
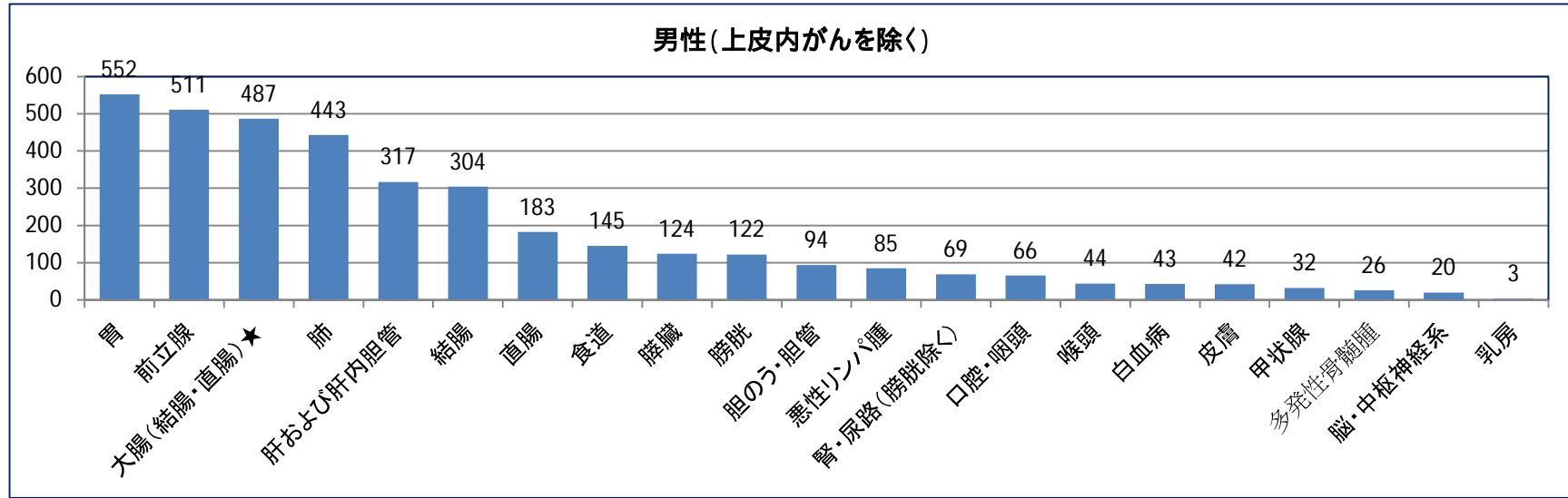
(確定値)

2013年9月集計

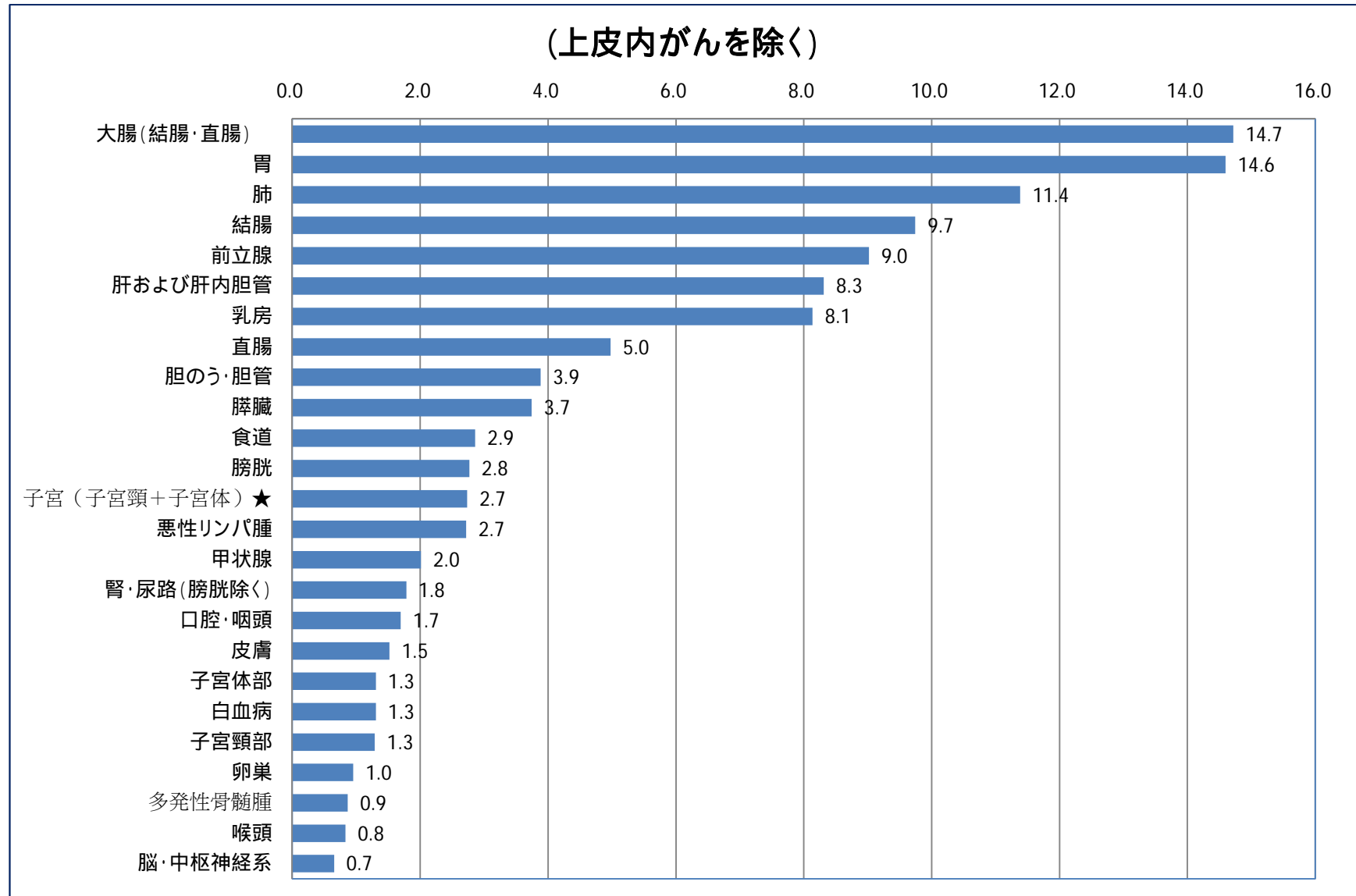
A 2010年山梨県がん罹患数(全体)(件)



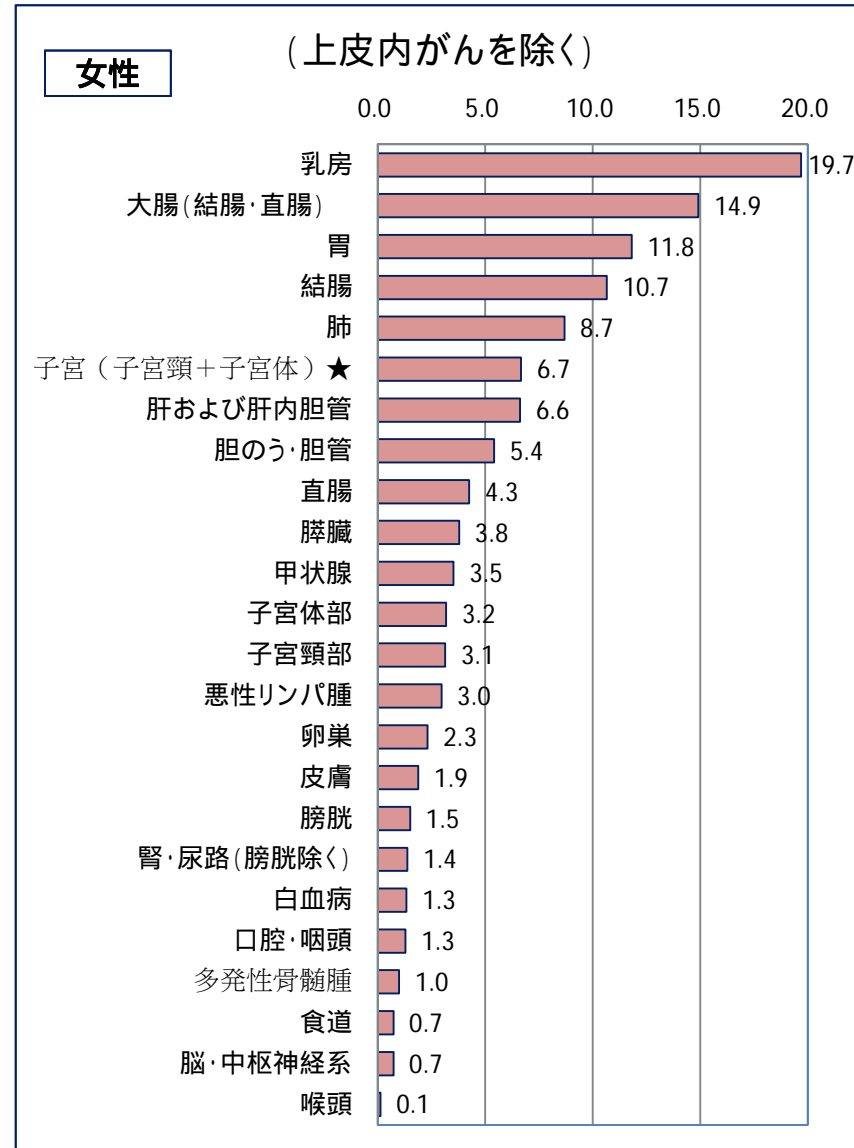
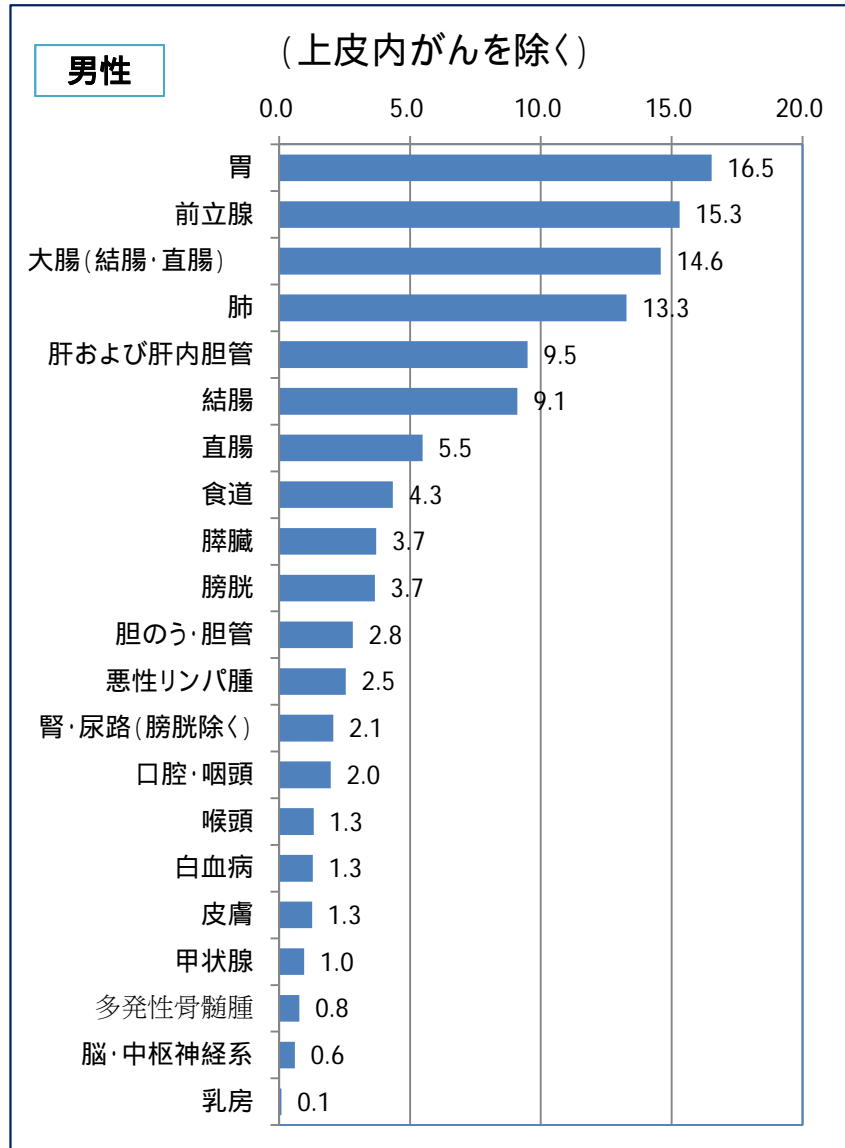
B 男女別・部位別罹患数(件)



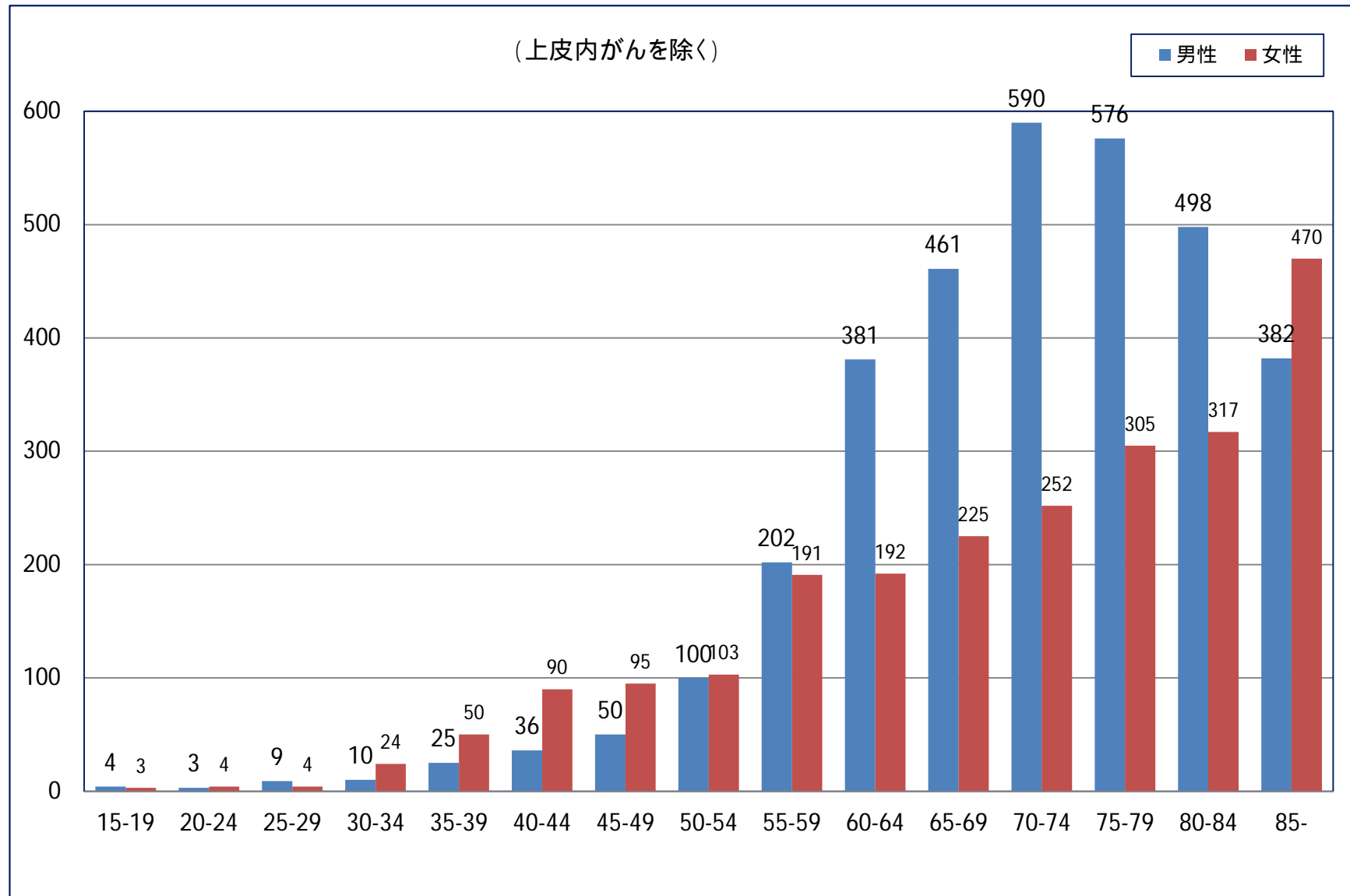
C - 1 罹患割合(%)・全体



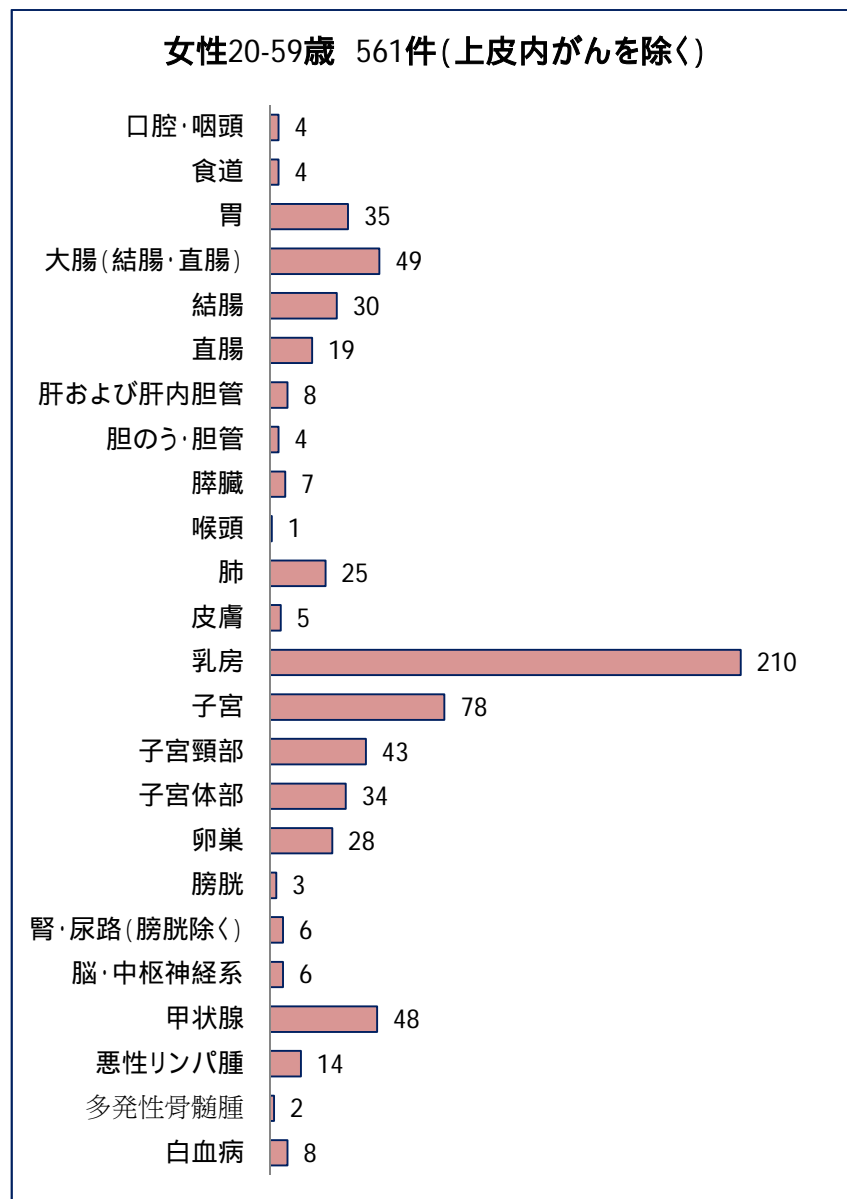
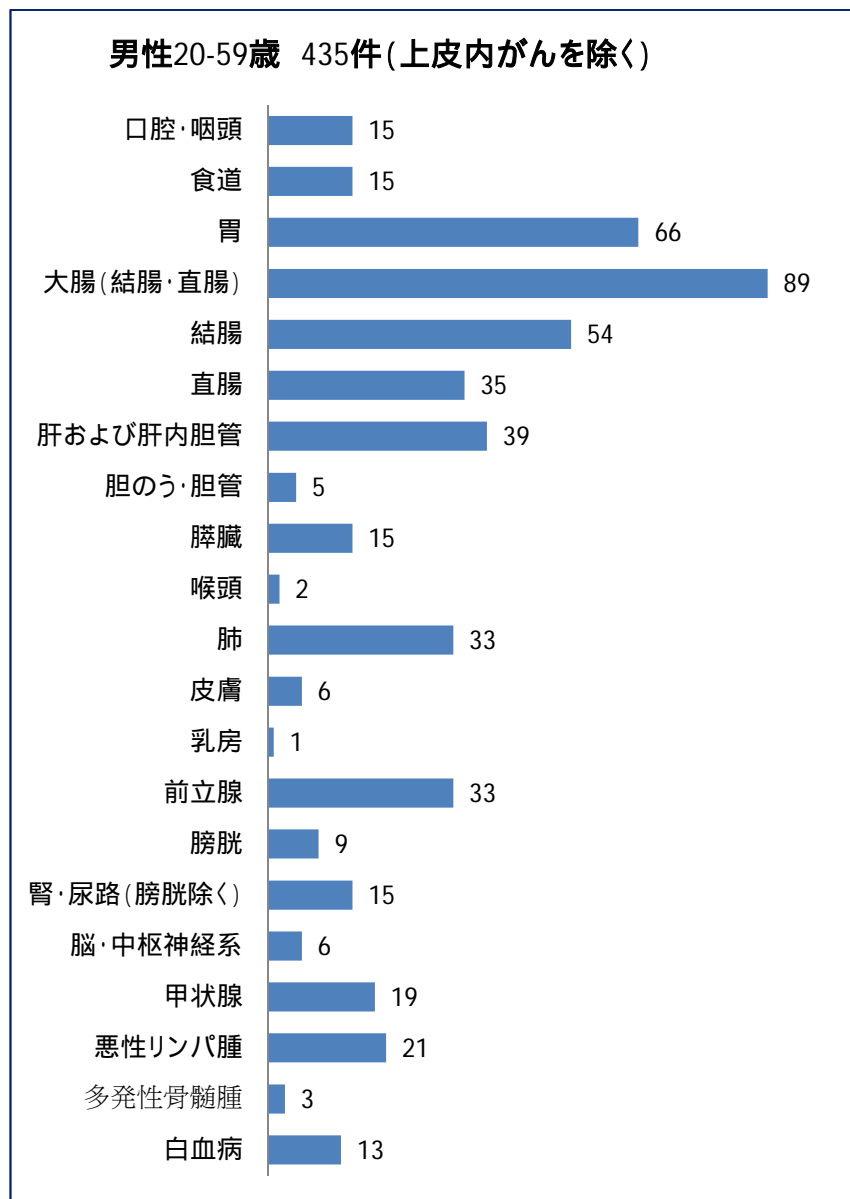
C - 2 罹患割合・男女別 (%)



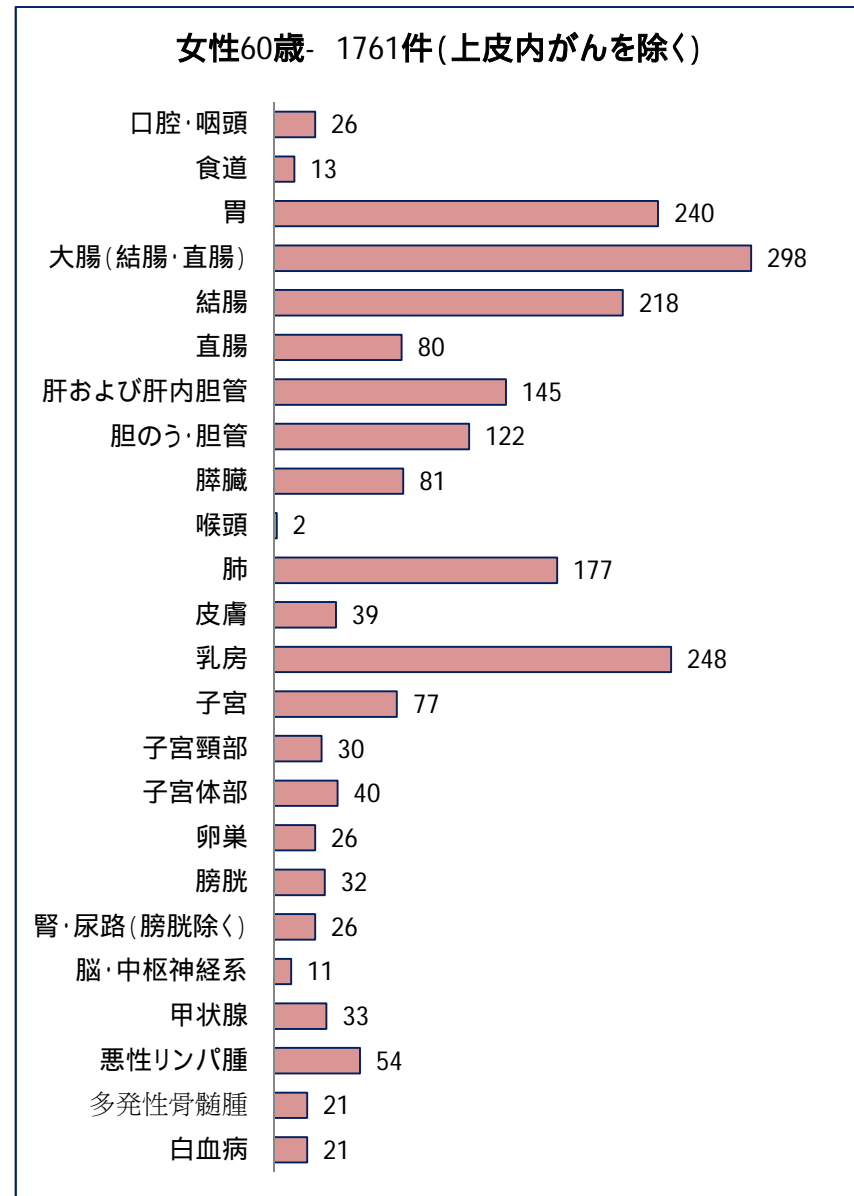
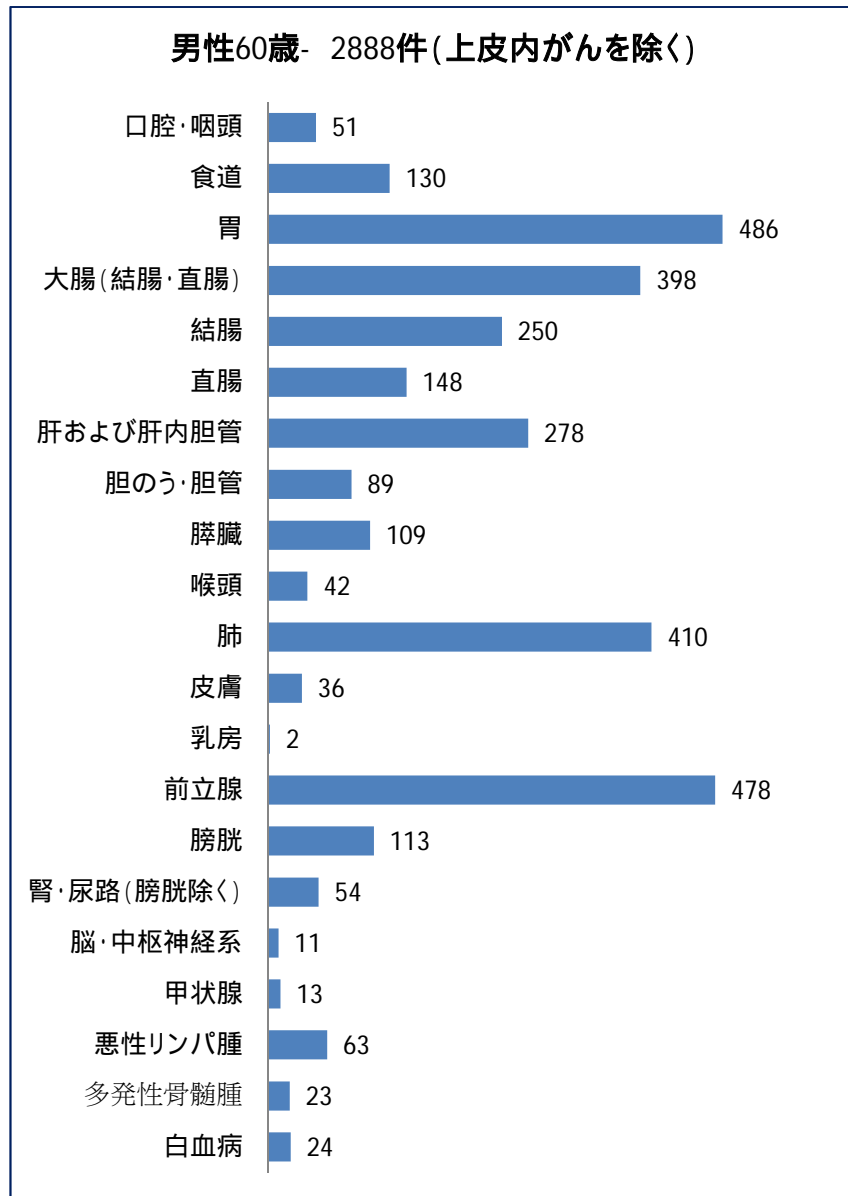
D-1 年齢階級別・男女別罹患数(件)



D - 2 年齢別・部位別罹患数 / 20歳～59歳(件)

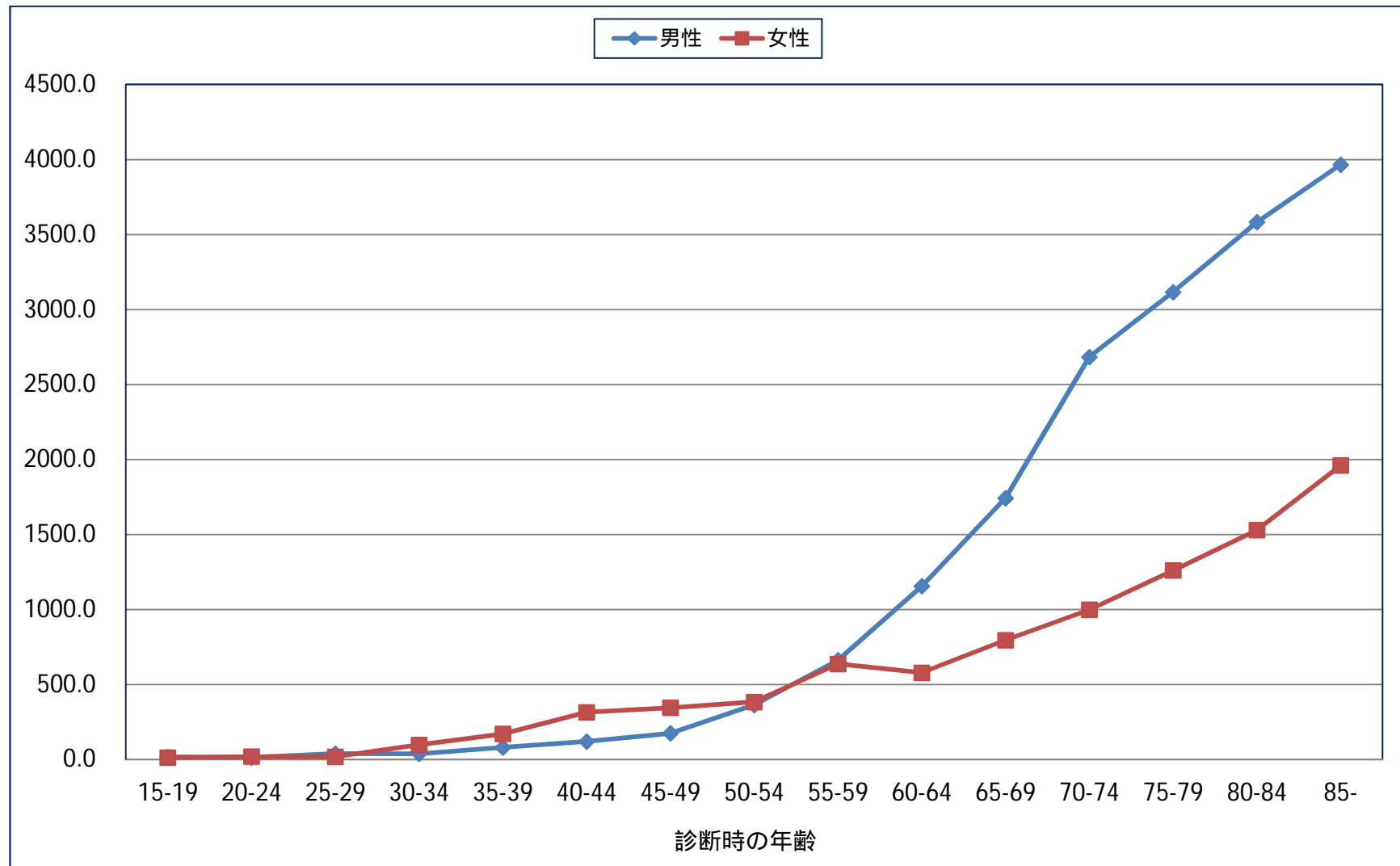


D - 3 年齢別・部位別罹患数 / 60歳以上(件)

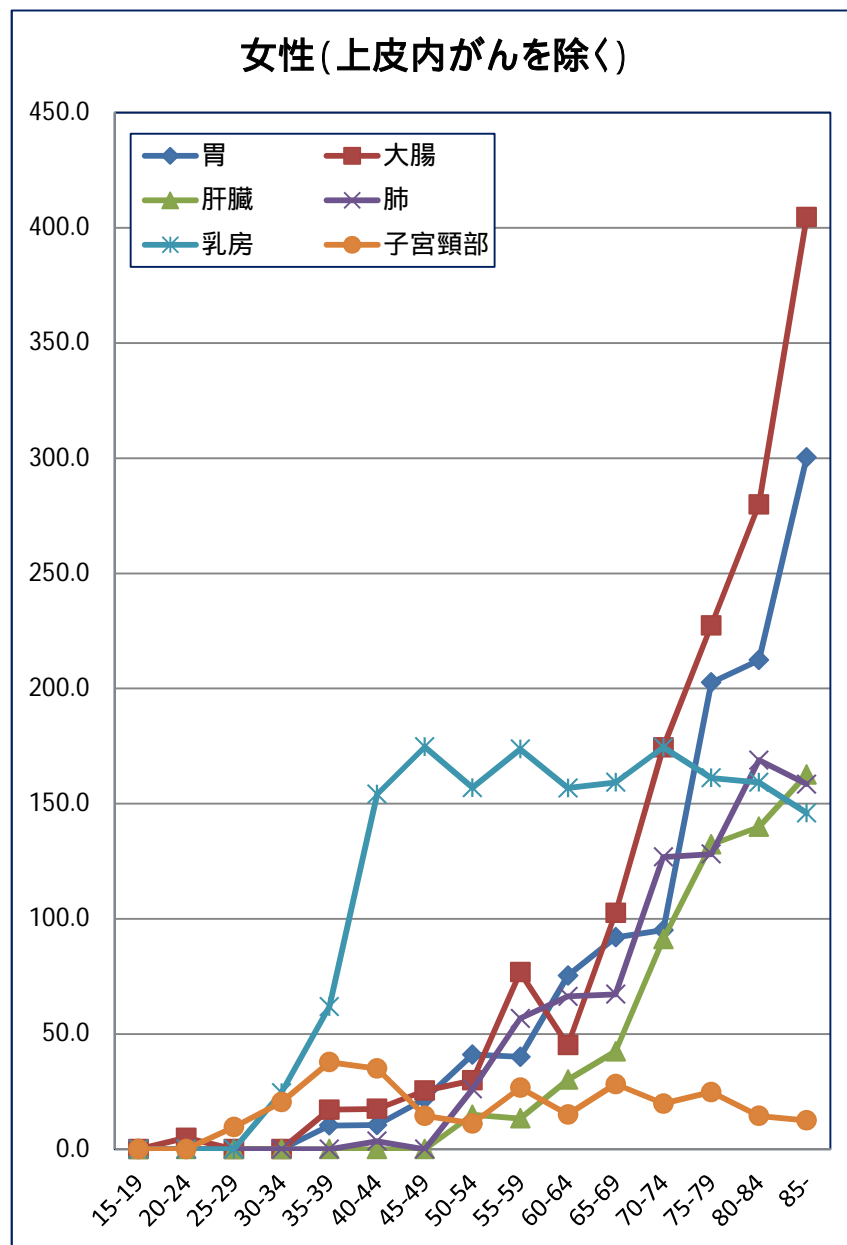
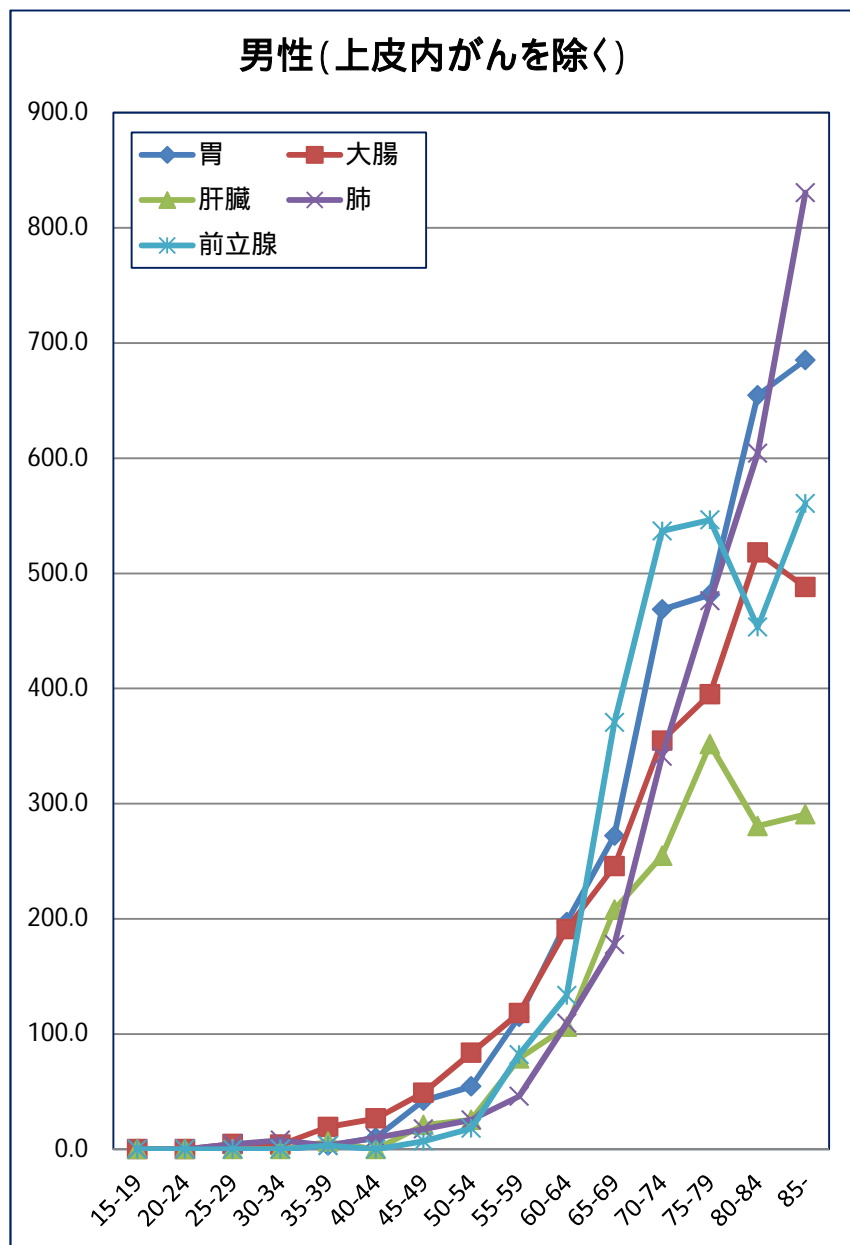


E - 1 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

全部位(上皮内がんを除く)

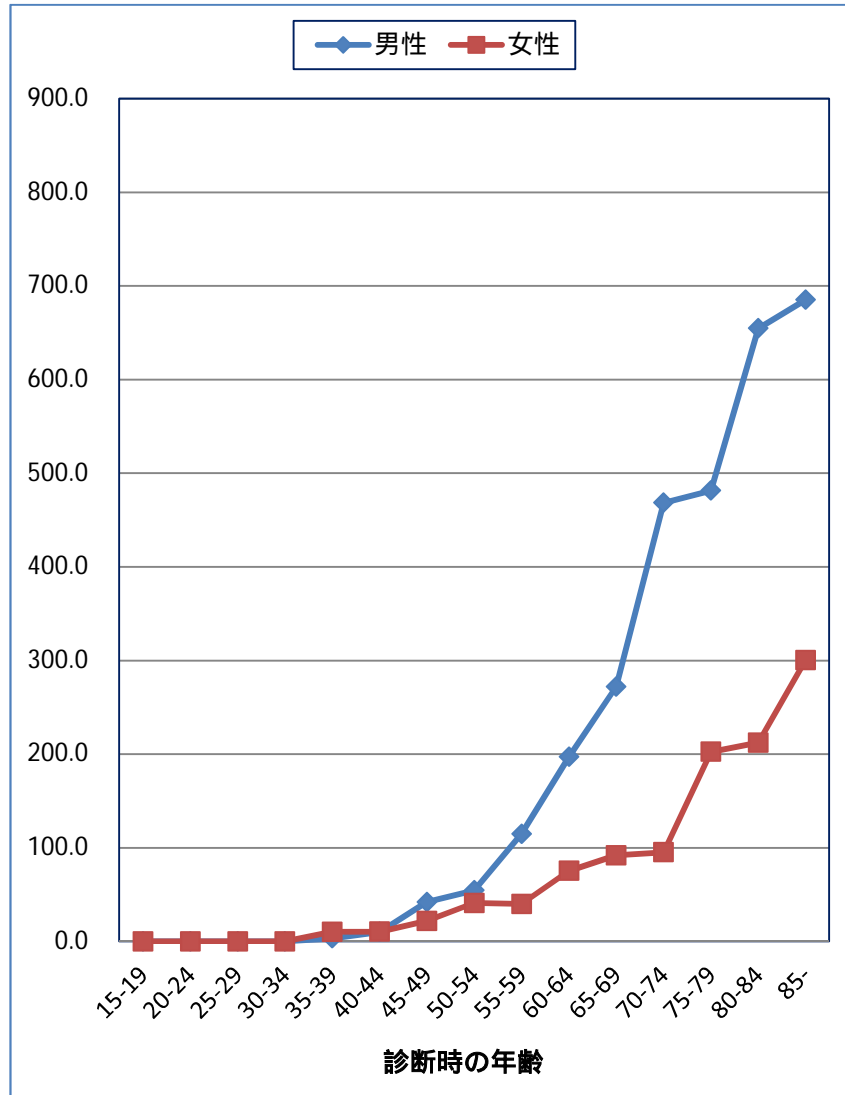


E - 2 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

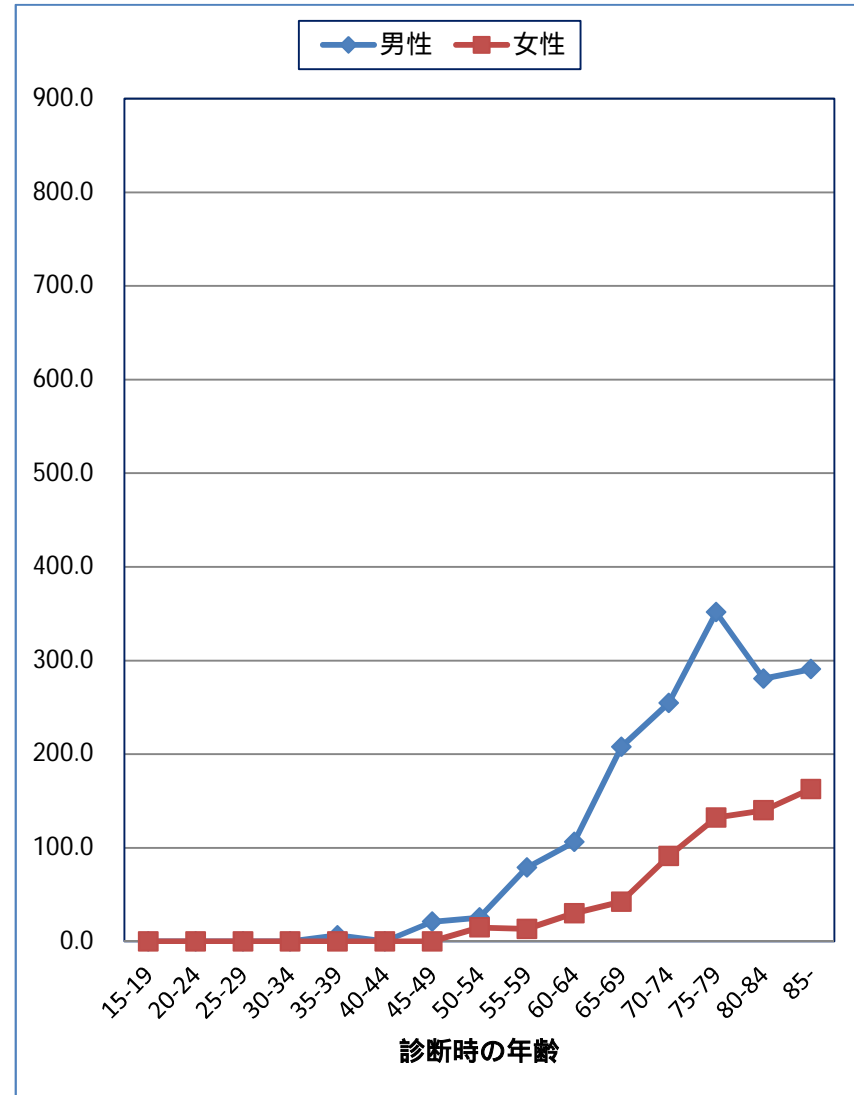


E - 3 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

胃がん(上皮内がんを除く)

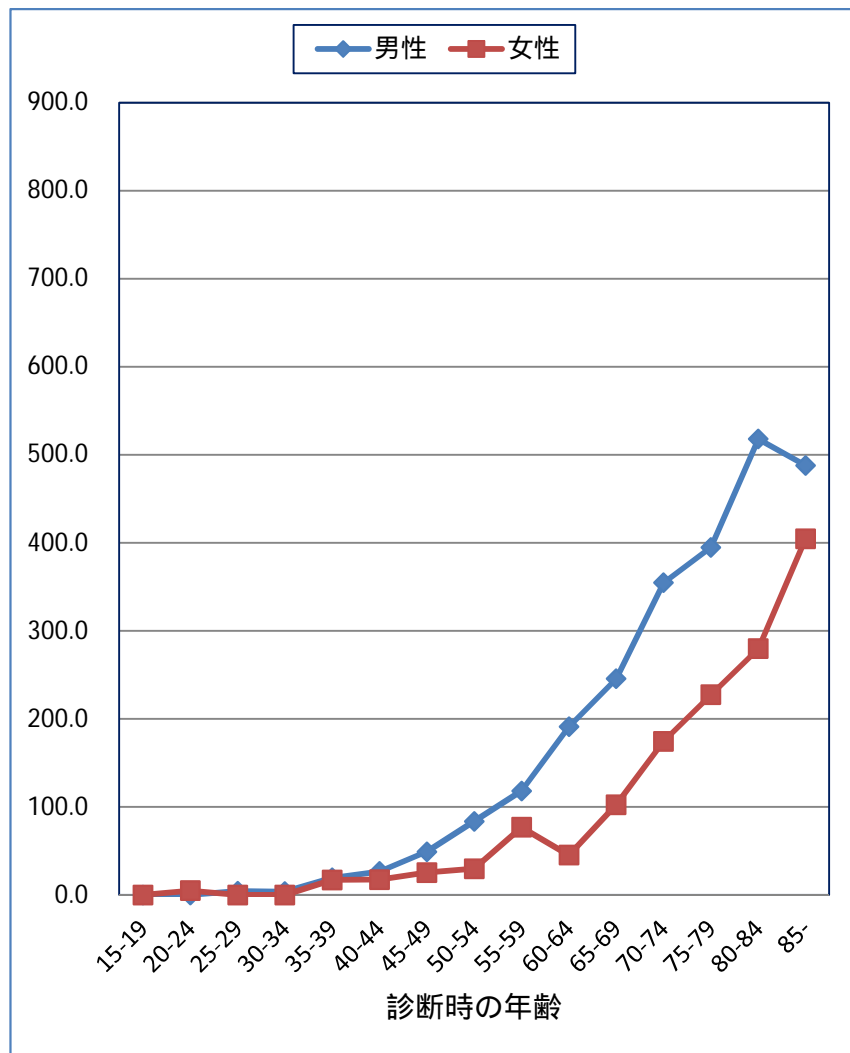


肝がん(上皮内がんを除く)

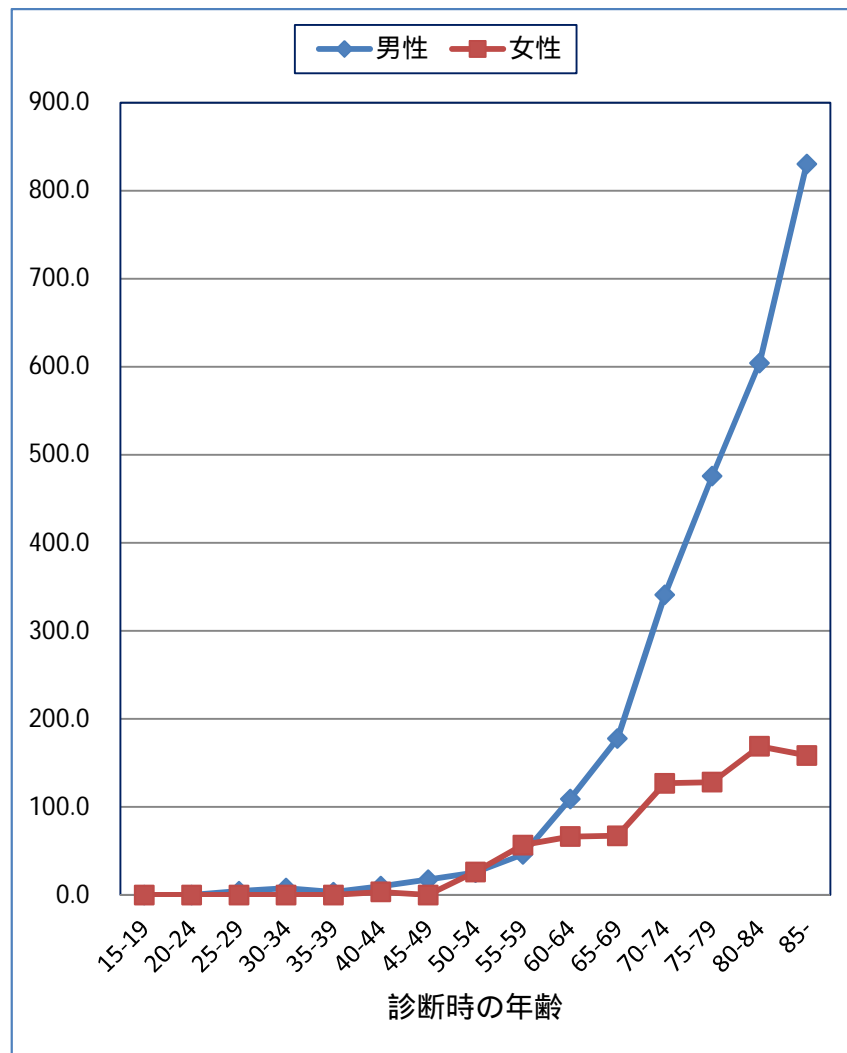


E - 4 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

大腸がん(上皮内がんを除く)

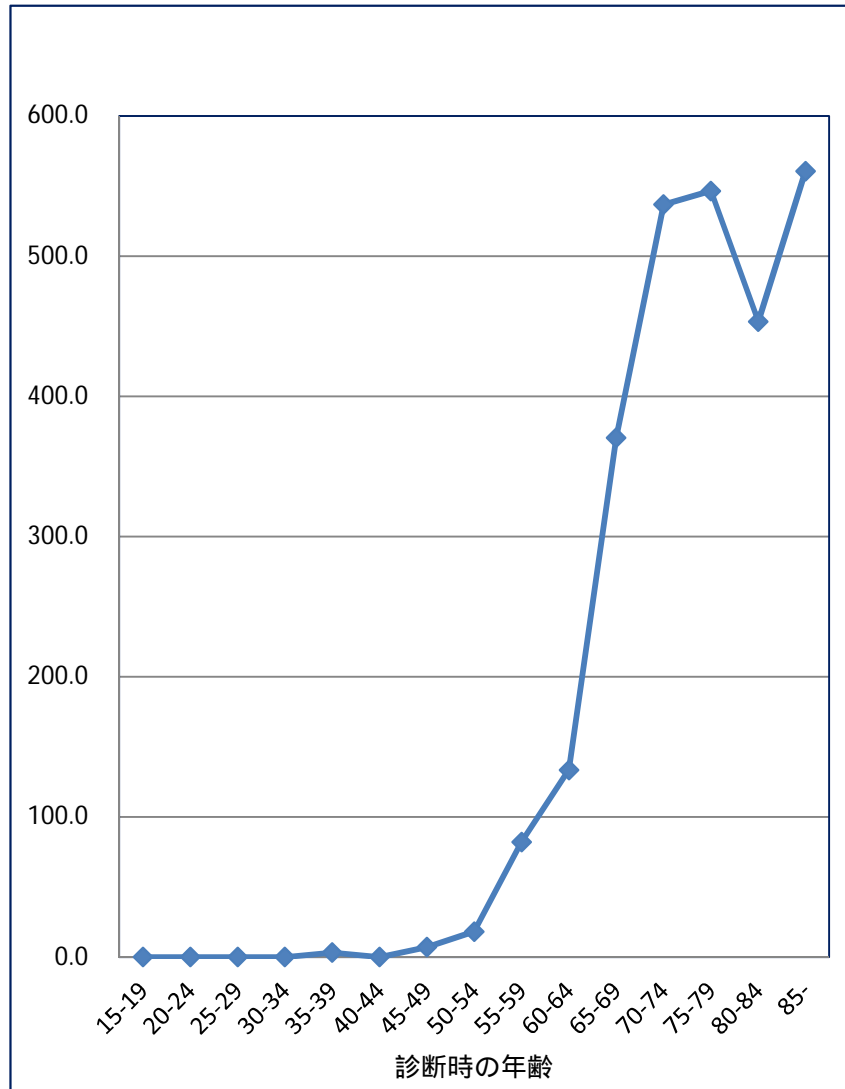


肺がん(上皮内がんを除く)

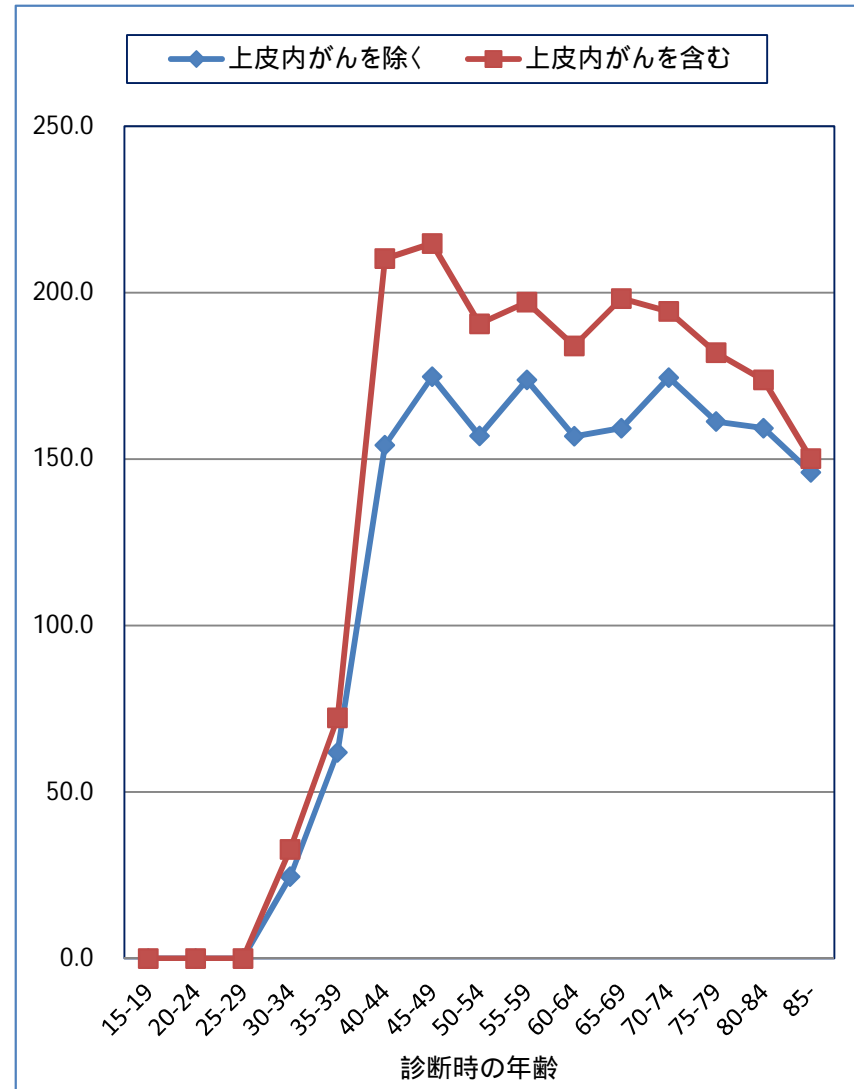


E - 5 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

前立腺がん(上皮内がんを除く)

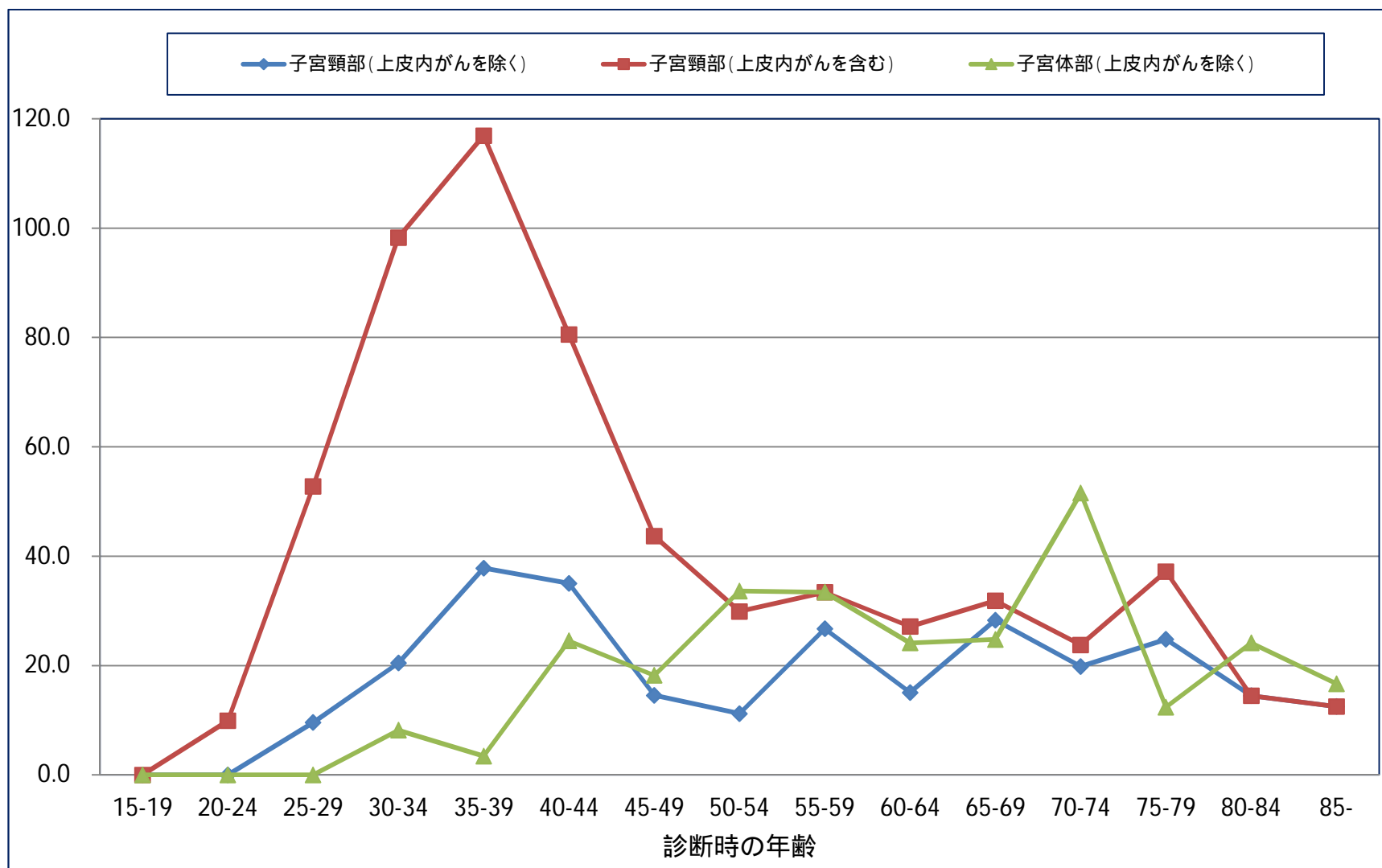


乳がん

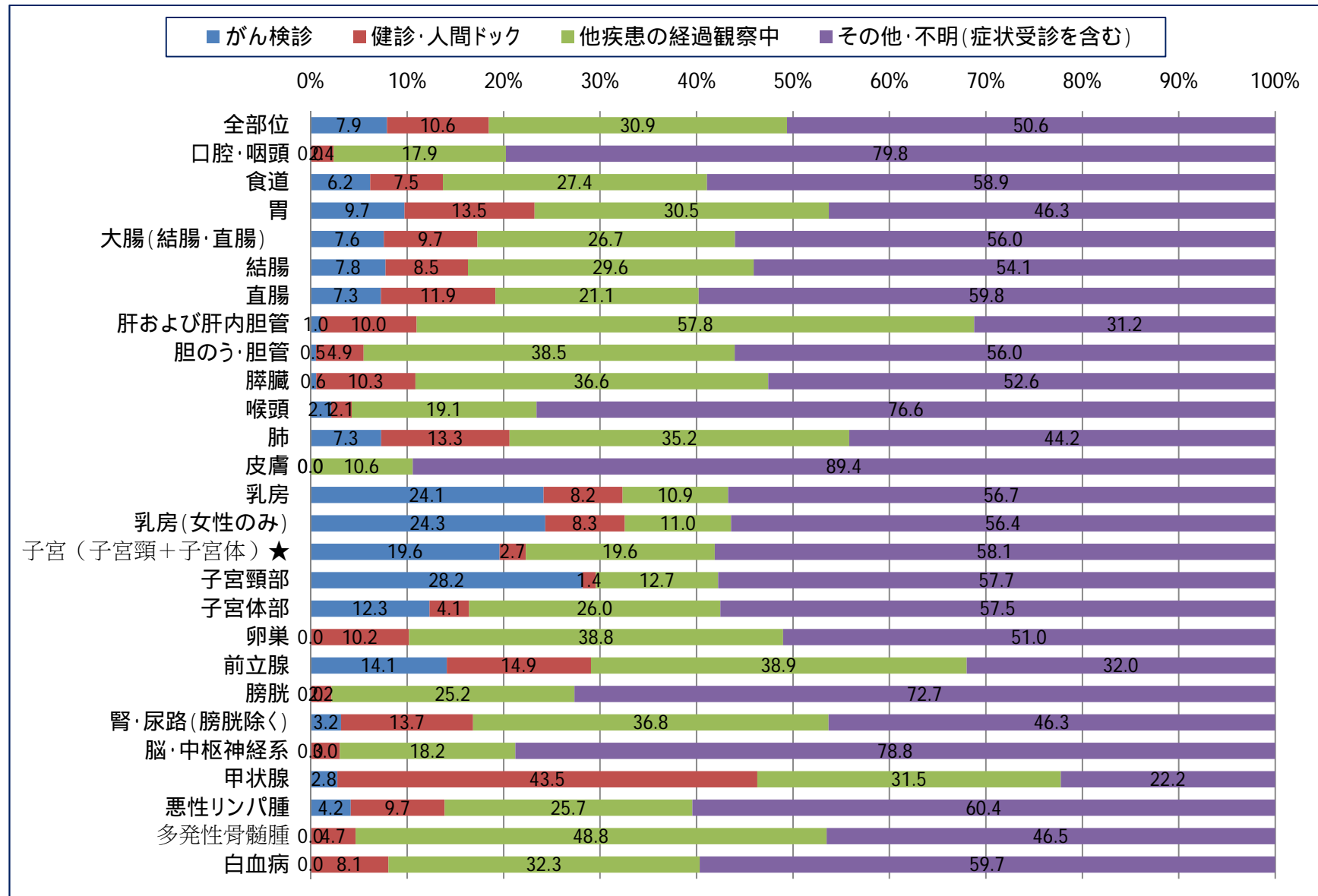


E - 6 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

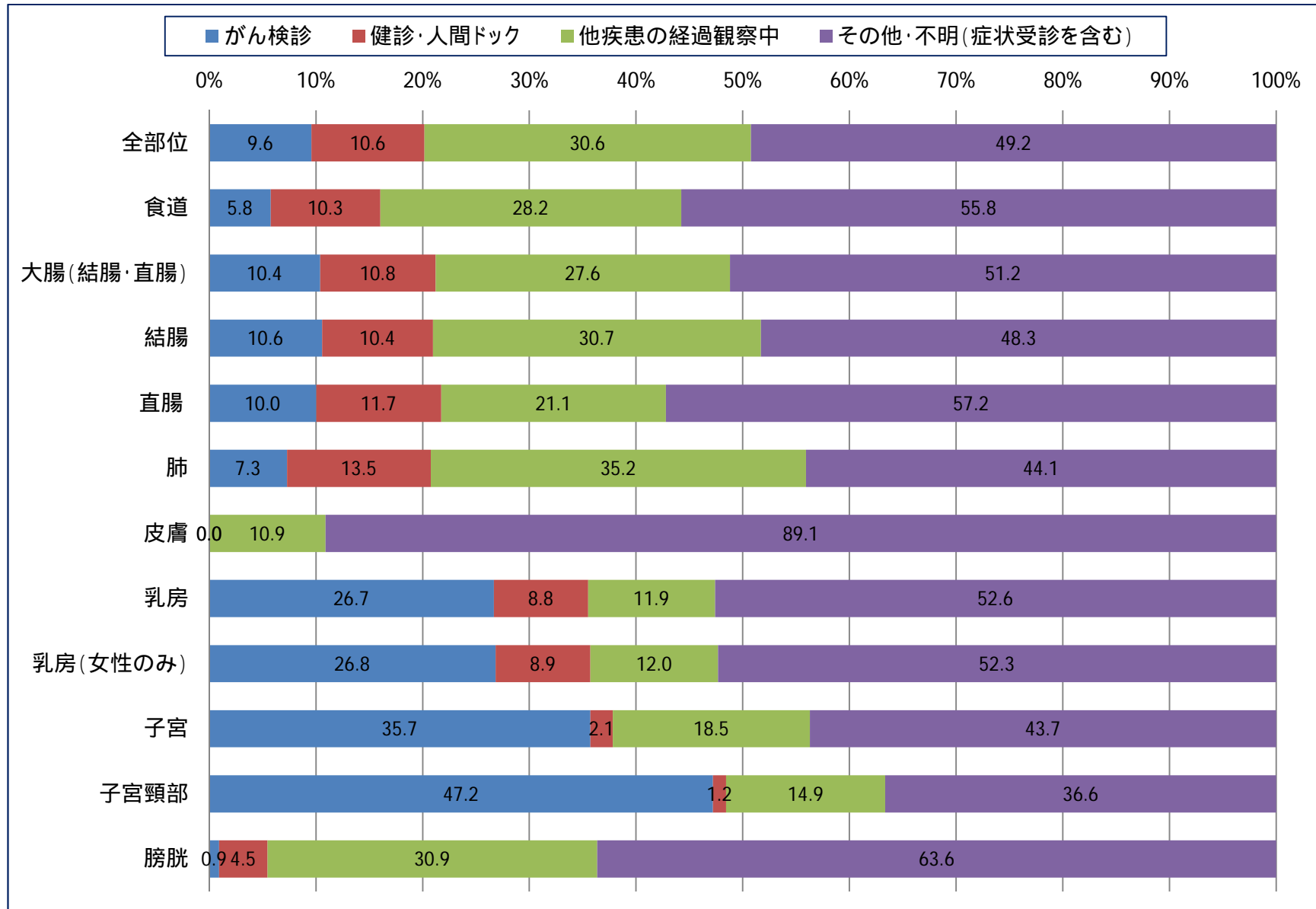
子宮(子宮頸部・子宮体部)がん



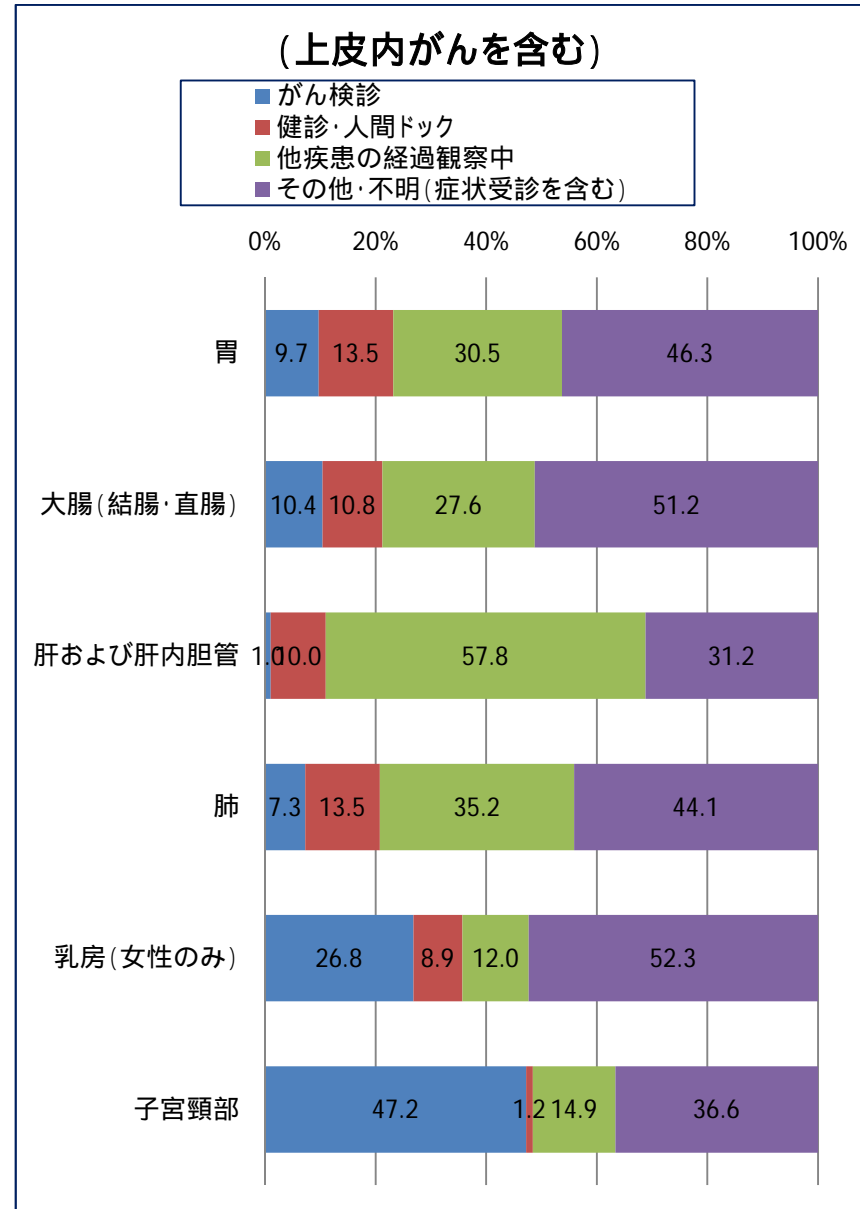
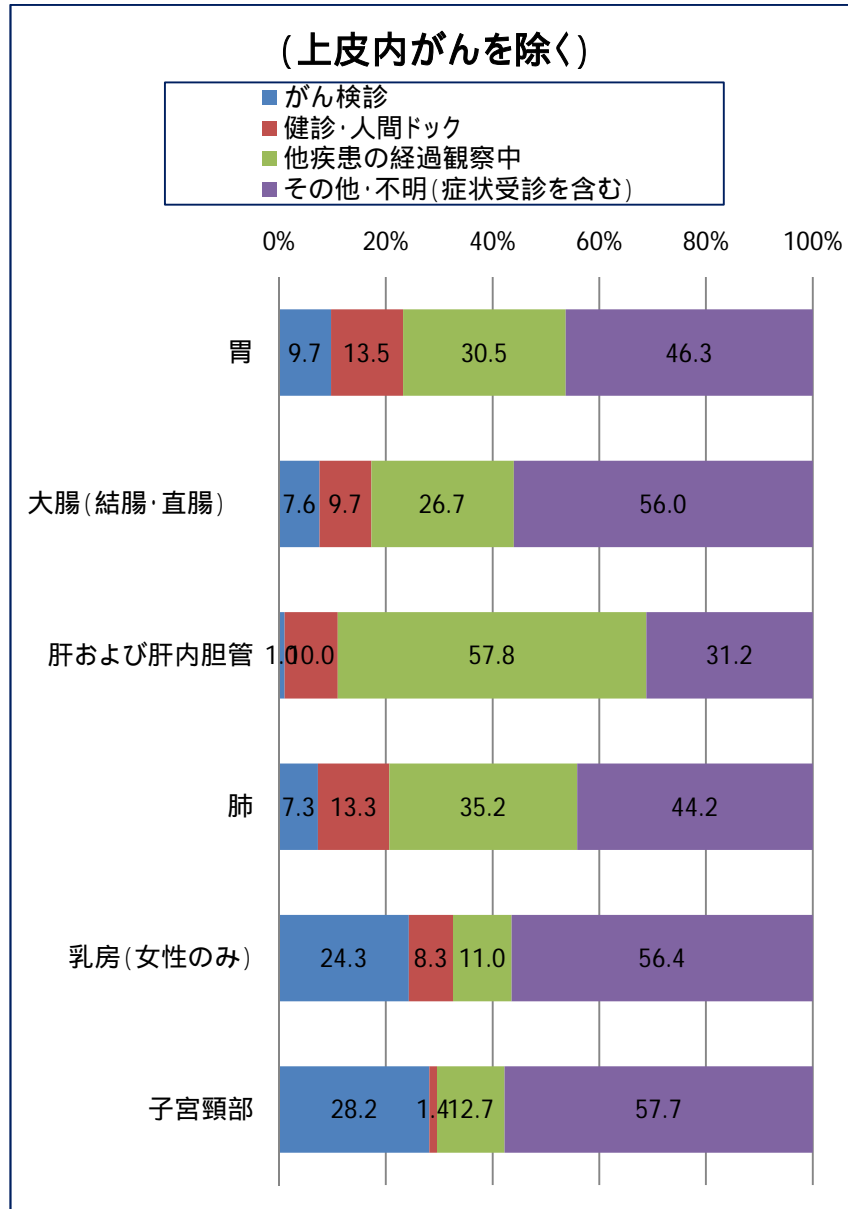
F - 1 発見経緯 (上皮内がんを除く) (%)



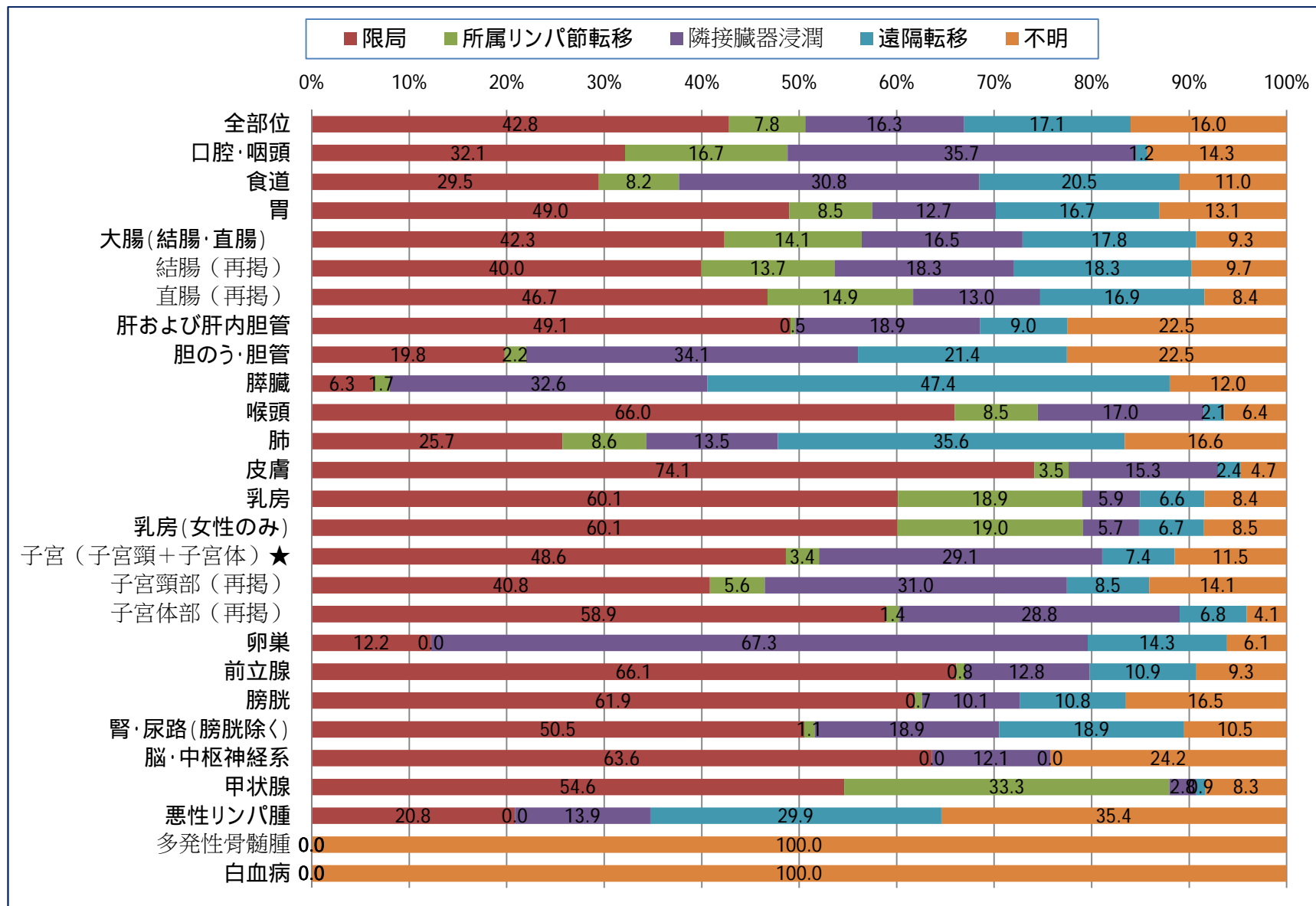
F - 2 発見経緯(上皮内がんを含む)(%)



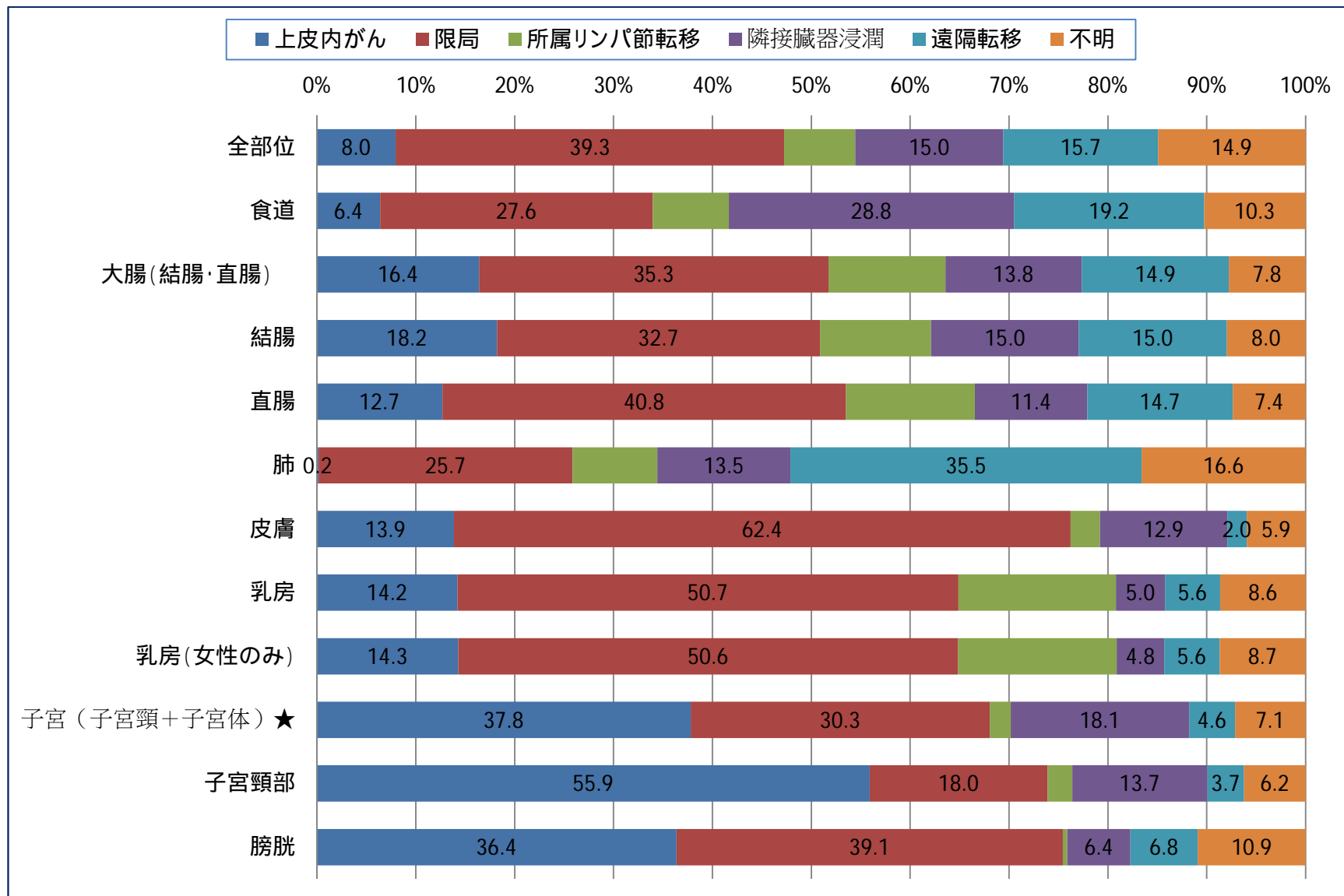
F - 3 発見経緯 (5大がん + 肝がん) (%)



G - 1 臨床進行度(上皮内がんを除く)(%)



G - 2 臨床進行度(上皮内がんを含む)(%)



データの精度

- 山梨県のデータ精度はMCIJ掲載基準を満たしている。
- 全国に比べDCNは高いが、DCOは低く、精度は高い。

		DCN		DCO	
		上皮内がん (除く)	上皮内がん (含む)	上皮内がん (除く)	上皮内がん (含む)
MCIJ掲載基準		30%未満		25%未満	
全国	2010年(MCIJ)	18.0%		12.0%	
山梨県	2008年(確定値)	29.8%	28.1%	11.8%	11.1%
	2009年(確定値)	25.1%	23.5%	10.2%	9.6%
	2010年(確定値)	23.4%	21.6%	10.6%	9.8%

- MCIJ : 全国がん罹患モニタリング集計
- DCN : death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたがん症例
- DCO : death certificate only 死亡診断書以外の情報がない症例

まとめ

1. 罹患数

山梨県での、2010年の1年間のがん罹患数は5,666件

男性:3,339件 女性:2,327件

2010年の罹患数と単純に比較すると、56件減少しており、男性では9件、女性では47件の減少がみられた。

	2008年(確定値)	2009年(確定値)	2010年(確定値)
全体	5,755	5,722	5,666
男性	3,366	3,348	3,339
女性	2,389	2,374	2,327

注：地域がん登録は1腫瘍1登録であり、多重がんもあるため「がん罹患人数」ではない

まとめ

2. 部位別罹患数・罹患割合

罹患数はやや減少している。

1位が「大腸(結腸+直腸)」834件、2位が「胃」827件、3位が「肺」645件となっている。2009年と比べ、「大腸」と「胃」の順位が入れ替わった。

2009年の罹患数と比べ増加したのは、35件増の「甲状腺」、32件増の「食道」、27件増の「乳房」であった。減少したのは、60件減の「胃」、39件減の「腎・尿路」、30件減の「大腸」であった。

	2008年		2009年		2010年	
	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)
1位	大腸	918(16.0%)	胃	887(15.5%)	大腸	834(14.7%)
2位	胃	859(14.9%)	大腸	864(15.1%)	胃	827(14.6%)
3位	肺	676(11.7%)	肺	662(11.6%)	肺	645(11.4%)

まとめ

3. 男女別罹患数順位

男性は、「胃」552件、「前立腺」511件、「大腸」487件、「肺」443件、「肝および肝内胆管」317件の順であった。

2009年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、30件増の「膀胱」、28件増の「食道」、29件減の「胃」、23件減の「腎・尿路」、19件減の「肺」であった。

女性は「乳房」458件、「大腸」347件、「胃」275件、「肺」202件、「子宮(子宮頸部+子宮体部)」155件の順であった。

2009年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、25件増の「胆のう・胆管」、23件増の「甲状腺」、31件減の「胃」・「大腸」、27件減の「乳房」であった。

男性	2008年	2009年	2010年
1位	胃	胃	胃
2位	大腸	前立腺	前立腺
3位	肺	大腸	大腸

女性	2008年	2009年	2010年
1位	乳房	乳房	乳房
2位	大腸	大腸	大腸
3位	胃	胃	胃

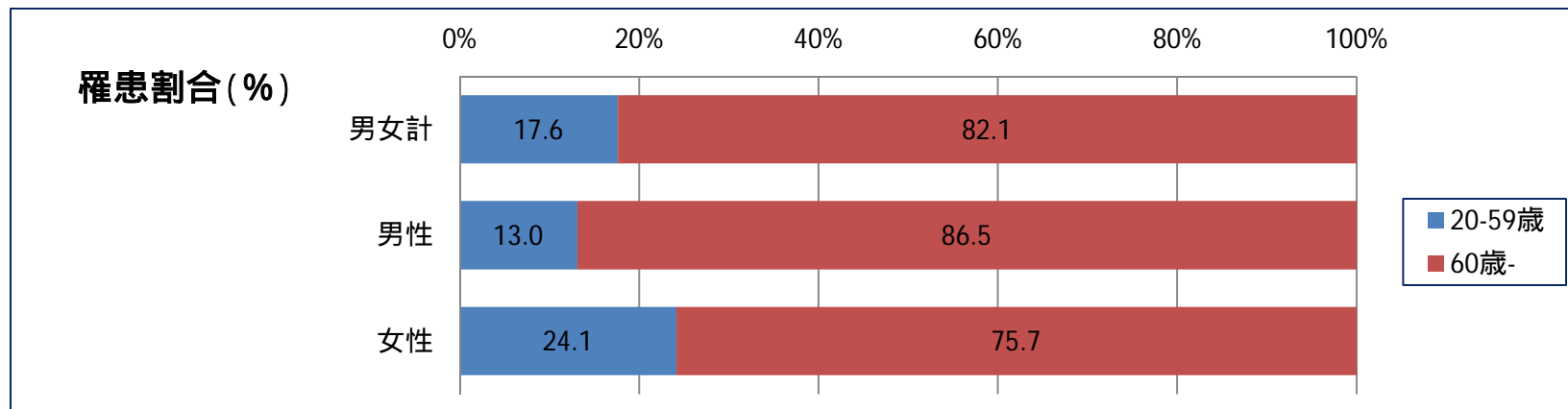
まとめ

4. 年齢階級別・男女別罹患数、罹患割合

年齢別にみると、60歳以上が、4,649件で全年齢の82.1%を占め、就労年齢の多い20 - 59歳は、996件で、割合は17.6%となっている。

男性では、60歳以上が、2,888件、86.5%、20 - 59歳が、435件、13.0%となっている。

女性では、60歳以上が、1,761件、75.7%、20 - 59歳が、561件、24.1%となっている。



まとめ

5 . 年齢階級別罹患率

男性は50歳代後半から罹患率が急激に上昇し、その後も加齢に伴い上昇している。

女性は、乳がん及び子宮頸がんの罹患が、20～30歳代から高くなることから、20歳～40歳代までは男性より罹患率が高い。50歳代で男性の罹患率と交差し、その後は緩やかに増加する。

臓器別にみると、男性は、50歳代後半からどの臓器の罹患率も増加している。

女性では子宮頸がんが20歳代前半から罹患率が上昇し、30歳代後半でピークとなる。

また、乳がんは30歳代前半から上昇し、40歳代でピークとなる。子宮頸がんと乳がんは、若い世代に罹患率が高い特徴がある。

まとめ

6. 臓器別発見経緯

「上皮内がんを除くがん」の発見経緯は、全部位で「がん検診」7.9%、「健診・人間ドック」10.6%、「他疾患の経過観察中」30.9%、「その他・不明(症状受診含む)」50.6%であった。

「がん検診」と「健診・人間ドック」によるものを合わせると18.5%が健診等で発見されたものであった。この比率は年々高くなっている。健診等で発見されたものを臓器別にみると、「甲状腺」46.3%、「乳房」32.3%、「子宮頸がん」29.6%、「前立腺」29.0%、「胃」23.2%、「肺」20.6%の順であった。

「上皮内がんを含む」発見経緯では、「子宮頸がん」が48.4%、「乳房」が35.5%で、健診等での発見率が高い。